

5.30

思いやりの心をもって ビジネスマナーを学ぶ

外国人社員向けビジネスマナー研修



名刺交換や敬語など日本企業で働く上で必要なビジネスマナーを習得するため、(株)経営人事教育システムの華多真美氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

華氏は、「日本では思いやりが重視されるため、ビジネスマナーを身につけると業務を円滑に進めることができる。慣れるまで大変だと思うが、意識して取り組んでほしい」と語った。

参加者からは、「ビジネスシーンを想定したワークなどで理解を深めることができた。職場での実践を通じてビジネスマナーに磨きをかけたい」との声が聞かれた。

会員事業部事業推進チーム

6.2

後輩・部下との向き合い方を学ぶ

頼もしい後輩・できる部下を育てる現場でのOJTスキル完全習得



後輩や部下の指導・育成に必要なノウハウを習得することを目的に、ビジネスディベロップサポート代表の大軽俊史氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

大軽氏は、「様々なハラスメントが叫ばれる中、部下に対する指導に頭を悩ませているとの声は多い。効果的な指導を行うためには、日頃から部下に目をかけ、コミュニケーションを通じて信頼関係を築くことが重要」と語った。

参加者からは、「後輩や部下との接し方で新たな気づきが得られた。早速実践したい」との声が聞かれた。

会員事業部事業推進チーム

6.16

FC商用車の普及について考える

燃料電池(FC)商用車普及拡大施策説明会



次世代産業委員会は、運送業などの脱炭素化に期待される燃料電池(FC)商用車の普及に向けて、兵庫県・神戸市と共同で説明会を開催した。

兵庫県がFC商用車の需要創出に向けた国の重点地域に選定され、地元企業の関心が高まる中、FC商用車の導入や水素ステーション(ST)整備に関する国や自治体の支援策などを近畿経済産業局と兵庫県の担当者が解説した。

また、トヨタ自動車(株)の平野氏は、「FC車の普及には水素を大量に使用するトラック・バスなど商用車の先行導入と水素ST整備が鍵を握る」と強調した。

産業部産業振興チーム

6.17

2025年度 事業計画・収支予算を決定

兵庫県商工会議所連合会 総会



兵庫県商工会議所連合会は、総会を開催し、2025年度事業計画・収支予算を決定した。事業計画には小規模事業者の支援にあたる経営指導員などの定数維持・拡大に向けた活動や商工業振興・労働環境整備に係る事業の実施を盛り込んだ。また、役員には川崎会頭に加えて、副会頭に姫路・洲本・小野、監事に相生・宝塚の各会頭をそれぞれ選任した。

総会後に開催した懇親会には、兵庫県知事や兵庫県議会正副議長・主要会派の代表者が参加。各地の経済情勢などについて情報交換を行った。

総務部総務チーム

6.9

米国関税措置への対応を学ぶ

米国トランプ政権の関税措置と日本企業への影響



国際ビジネス委員会は、米国トランプ政権による関税措置の最新情報と今後の展望について学ぶセミナーをジェトロ神戸と共同で開催した。

講師にはジェトロ貿易投資相談アドバイザーの中山元司氏を招聘。中山氏は、「先行きは不透明であるが米国に限らず、企業は自衛のために関税負担を軽減する手立てを講じるべき」と説明し、輸出入にかかる関税の撤廃・削減が期待できるEPAやFTAの活用を促した。

参加者は講演に熱心に耳を傾け、質疑応答や講師との名刺交換においても情報収集に積極的な姿勢を見せた。

産業部国際チーム

6.16

万博を契機としたビジネス交流

岩手県商工会議所連合会との懇談会



岩手県商工会議所連合会の谷村会長が、万博会場内の催事「東北四季の彩り&東北絆まつり」の開催にあわせて来神し、川崎会頭と意見交換を行った。

川崎会頭は、高い技術力を持つ神戸市内の製造業やスタートアップ企業などを紹介。岩手県商工会議所連合会からは岩手県の産業や魅力について説明があった。谷村会長は、「万博を契機に神戸・岩手のビジネス交流が活性化するように連携していきたい」と強調した。

同時期には宮城県商工会議所連合会や秋田商工会議所の訪問も受け入れ、ビジネス交流の促進に向けて関係を深めた。

地域政策部

6.19

新規事業担当者が活発に交流

第6回新規事業担当者交流会



会員企業のイノベーション創出を支援するため、新規事業担当者が集い、協業や連携の可能性について意見交換を行う交流会を開催した。

ゲスト講話では、売れる商品づくりとチームビルディングをテーマに、(株)Mizkanの一柳圭氏が登壇。一柳氏は、「今の商品を生かすことが重要。見方を変えると新たな市場開拓ができることもある」と指摘した。

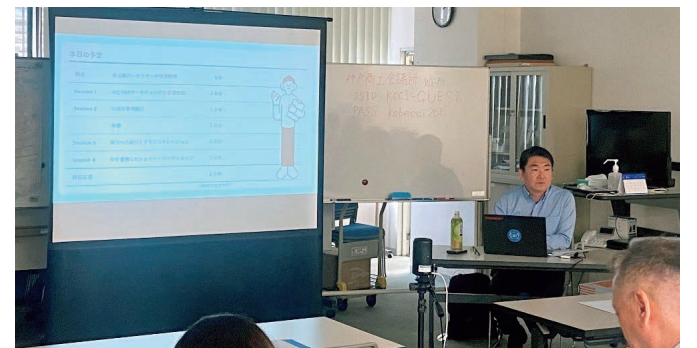
また、チームビルディングについては、「相手の個性や実力を踏まえて対話することでメンバーを成長させることができる」と語り、自身の経験やノウハウを紹介した。

産業部産業振興チーム

6.26

SNS投稿の効率化について学ぶ

生成AIを活用したSNSマーケティング入門



SNSを用いた広報業務の効率化について学ぶため、(同)DICTの工藤洋輔氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

工藤氏は、SNSマーケティングの基礎知識や生成AIの活用事例などを紹介するとともに、キャプションやハッシュタグなどを生成AIで作成する実践法を解説。また、「SNSマーケティングは、仮説と検証、改善を繰り返すことで効果的な運用ができる」と強調した。

参加者からは、「生成AIを活用することで、ここまでSNSの投稿が効率化できるとは驚いた」との声が聞かれた。

西神戸支部